




3 セグメント別詳細情報 - 車両


2024年度実績（前期比）


受注高  国内・アジア向けの減少はあるものの、米国向けの増加（ニューヨーク市交通局向け地下鉄「R211」追加契約車両435両）を受注したことにより増加
+1,627 億円


売上収益  国内向けやアジア向けが減少したものの、米国向けが増加したことにより増収
+263 億円

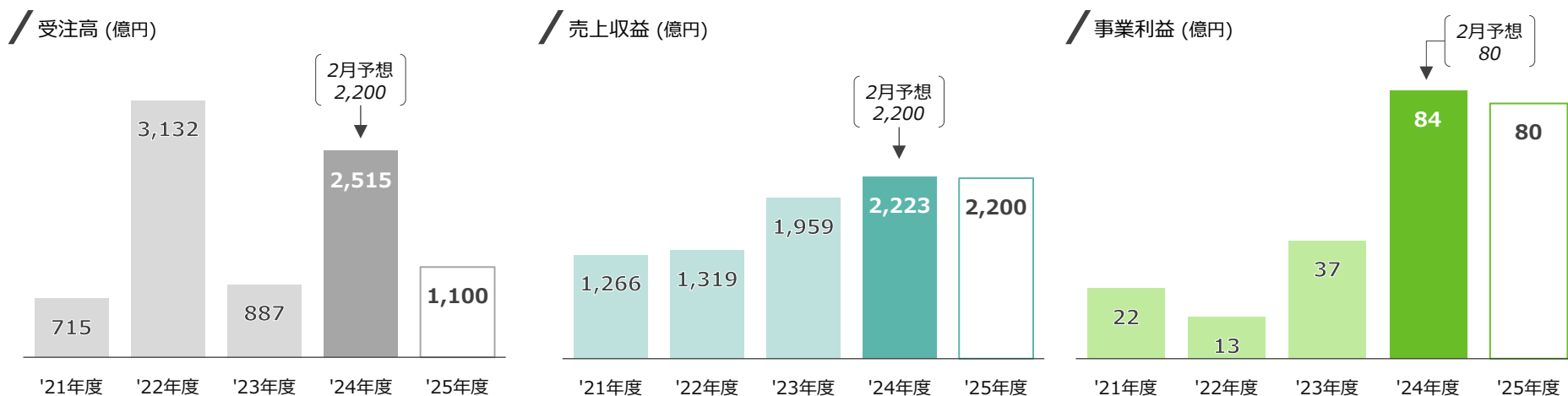
事業利益  増収などにより増益
+46 億円

2025年度予想（前期比）

受注高  国内・アジア向けの増加はあるものの、米国向けの減少（主として前期に受注のあった「R211」追加契約車両435両）により減少
▲1,415 億円

売上収益  大きな変動はなく、前期並み
▲23 億円

事業利益  大きな変動はなく、前期並み
▲4 億円

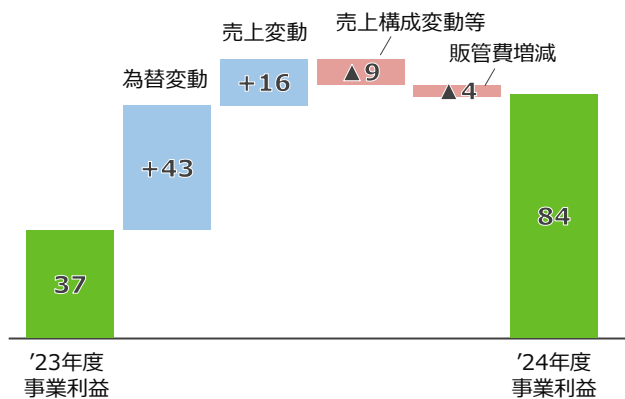


3 セグメント別詳細情報 - 車両

(単位：億円)

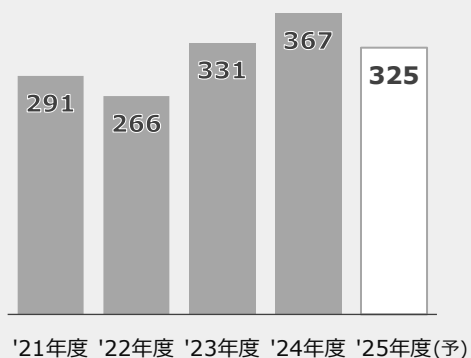
	'23年度	'24年度				'25年度	
	実績	2月予想	実績	前期比	2月予想比	予想	前期比
受注高	887	2,200	2,515	+ 1,627	+ 315	1,100	▲ 1,415
うち 国内・アジア	873	435	523	▲ 350	+ 88	1,030	+ 507
北米	14	1,765	1,992	+ 1,978	+ 227	70	▲ 1,922
売上収益	1,959	2,200	2,223	+ 263	+ 23	2,200	▲ 23
うち 国内・アジア	812	675	701	▲ 111	+ 26	780	+ 79
北米	1,146	1,525	1,521	+ 374	▲ 4	1,420	▲ 101
事業利益	37	80	84	+ 46	+ 4	80	▲ 4
	[利益率] [1.9%]	[3.6%]	[3.8%]	[+ 1.8pt]	[+ 0.1pt]	[3.6%]	[▲ 0.1pt]

事業損益増減要因 (億円)



補足情報

部品・改造・アフター関連売上(単位：億円)

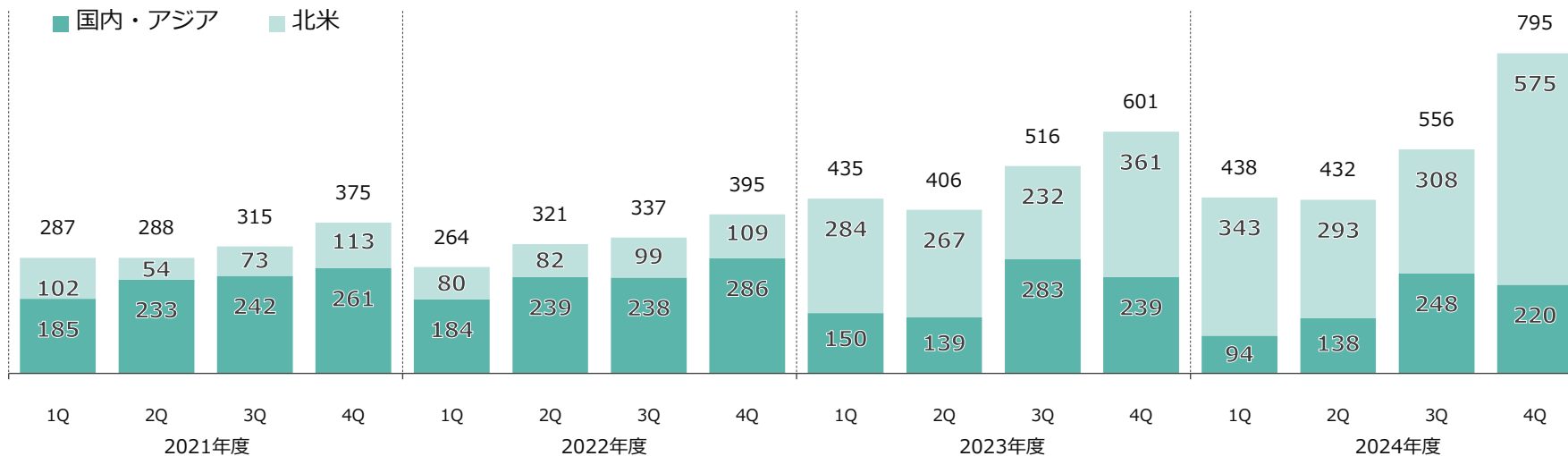


米国ニューヨーク地下鉄向け R211プロジェクトの進捗状況 ('25年3月末)

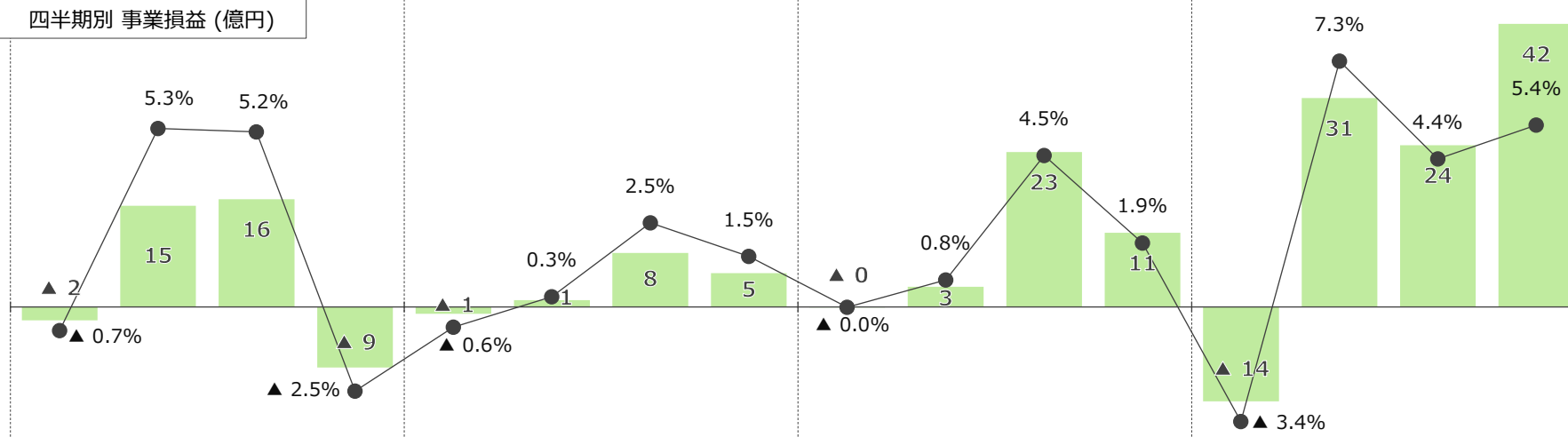
- Base契約車両全535両のうち、**460両**を引渡し済み
Base契約最終車両引渡しは2025年度中を予定
- Option1契約車両640両のうち、**10両**を引き渡し済み
- Option2契約車両435両は25年1月に受注済み

3 セグメント別詳細情報 - 車両

四半期別 売上収益 (億円)



四半期別 事業損益 (億円)



3 セグメント別詳細情報 - 車両

事業環境・受注動向

- 国内市場
 - インバウンドの復調等により鉄道車両への投資が再開
- 海外市場
 - 大都市における混雑緩和対策のための都市交通整備などに伴い需要が見込まれる
- サプライチェーンリスク
 - 電子部品を中心とした機器調達の長期化に注視が必要
- 中長期展望
 - 海外市場における交通整備、アジア諸国の経済発展に伴う鉄道インフラニーズなど、今後も世界的に安定した成長が見込まれる



ニューヨーク市交通局
(MTA New York City Transit)向け
R211地下鉄車両

重点施策と具体的な取り組み

✓ 海外案件の納入スケジュール遵守

- 主要案件のマイルストーン（米国向けR211を除く）

案件	ステータス	マイルストーン
ダッカ 6号線	▶ 完納（全24編成144両を顧客に引渡し済）	最終車両引渡し 2024年度4Q完了 基地設備引渡し 2025年度
米国 M-9	▶ 完納（全202両を顧客に引渡し済）	最終車両引渡し 2024年度3Q完了

✓ 顧客に信頼される品質レベルの達成

- 仕損じ、手直し費用の削減
- 国内外の各生産拠点でのKPS (Kawasaki Production System)による生産管理の継続



ダッカ都市交通会社
(Dhaka Mass Transit
Company Limited) 向け
都市高速鉄道車両

✓ 部品・サービスの拡販、保守分野の事業拡大

- 北米向け軌道遠隔監視装置の拡販
- 国内鉄道事業者への車両状態監視装置の拡販